



しょうがく1ねんせい ぐみ ばん

なまえ

自分で書いた字が残ることは、将来の振り返りの際、多くのことを感じることができます。ひらがなの学習後、自分で名前を書かせましょう。

1ねんせいがんばってほしいこと

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、1年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。1年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

年度当初のため、字を書くことは難しいことが考えられます。「絵を描く」や「写真を貼る」といった工夫をしましょう。
作成の際は、学級活動などで「どんな1年生になりたいか。」について、意見交流をすることでイメージを膨らませておいてから、絵を描かせることも考えられます。

1がっき がんばったこと や たのしかったことを かきましよう。

頑張ったこと、楽しかったことにあまりこだわらず、児童が書きたいことを尊重して書かせ、肯定的に評価しましょう。
1年生の1学期に書いた字が残っているということが、ここでは一番大切です。あまり欲張らず、振り返って気付きを書いたということを認め、励ます声掛けをしましょう。

2がっき がんばったこと や たのしかったことを かきましよう。

せんせいからのメッセージ	せんせいからのメッセージ
()より	()より

1ねんかんをおもいだしてかきましよう。
1ねんせいで がんばったこと や たのしかった こと をかきましよう。



書くことが思い浮かばない場合、頑張ったこと、楽しかったことに加え、「1年生でできるようになったこと」等を記入することを児童に促しましょう。
書くことが苦手な児童は、空欄が多くできてしまうこともありますが、「〇行以上書きましよう。」といった形で指導するのではなく、児童自身がしっかり振り返ったということであれば、肯定的に評価するようにしましょう。

こんな 2ねんせいになりたいな (2ねんせいで がんばりたいこと)

本シートの児童自身の振り返りも参考にさせながら、次年度の目指す姿をイメージさせましょう。「2年生の自分の姿を想像してみる」ということが大切です。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。



せんせいからのメッセージ	おうちのひとなどからのメッセージ

マスコットキャラクターのチ〜ノです！
「キャリア・ログ」にとう
じょうして、みんなのがんば
りをおうえんするね！



先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。



小学校 2年 ぐみ ばん

なまえ

2年生にがんばってほしいこと

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、2年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。2年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

こんな2年生になりたい！

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

1学き

1学きにがんばったことやたのしかったこと

書くことが苦手な児童には、頑張ったことや楽しかったことの理由や、できるようになったことを問いかけながら書かせることも考えられます。
しかし、どうしても筆の進まない児童もいます。あまり文章の量にこだわらず、自己の生活を振り返っていることを評価する声掛けを心がけましょう。

2学き

2学きにがんばったことやたのしかったこと

先生からのメッセージ

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

()より

()より

()より

1年間をふりかえって書きましょう。



2年生で 一ばんたのしかったこととそのりゆう

1年生のシートから発展し、「理由」を書くようにしています。自分が楽しかったことについて、しっかりと理由も含めて振り返ることができるように声掛けをしましょう。

2年生で 一ばんがんばったことや できるようになったこと

「できるようになったこと」は、考えにくい児童もいます。「1年生のころと比べると…」や、「2学期と比べると…」のように、考えるヒントを与えるなどの工夫をしましょう。
できるようになったことを考えることは、「自己認識」にもつながります。児童が書きやすいようなら箇条書きでも構いません。自己の成長を振り返っていることを大切にしましょう。

3年生で がんばりたいこと

本シートの児童自身の振り返りも参考にさせながら、次年度の目指す姿をイメージさせましょう。「3年生の自分の姿を想像してみる」ということが大切です。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。

1年間をおえて、先生からのメッセージ

おうちの人などからのメッセージ



小学校 3年 ()組 ()番 名前()

3年生でめにつけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、3年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。3年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

こんな3年生になりたい！

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けをお願いします。



1学き

1学きにがんばりたいこと

「がんばりたいこと」の欄は、「こんな3年生になりたい」を踏まえ、具体的な行動目標を決める箇所です。なるべく、学期末に振り返ることの容易な具体的な目標になるように声掛けをしましょう。

1学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

3年生からは、学習面等の視点を踏まえ、分析的に振り返るようになっていきます。これまでの授業や学校行事の記録、上記の「がんばりたいこと」などを基に記入させます。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張りを認めることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。視点については変更することはできますが、高学年や中学校、高等学校での記述と比較ができるような項目を御検討ください。

(おうちや地)

(学校行じ)

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

2学き

2学きにがんばりたいこと

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張りを認めることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

2学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

(生活:そじの時間、かかり活どうなど)

(おうちや地いきで)

(学校行じ)

先生からのメッセージ

3学き

3学きにがんばりたいこと

3学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

(生活:そじの時間、かかり活どうなど)

(おうちや地いきで)

(学校行じ)

1年間をおえて、先生からのメッセージ

1年間をふりかえって

3年生で一番楽しかったこととその理ゆう

3年生でできるようになったこと

「できるようになったこと」は、考えにくい児童もいます。「2年生のころと比べると・・・」や、「2学期と比べると・・・」のように、考えるヒントを与えるなどの工夫をしましょう。できるようになったことを考えることは、「自己認識」にもつながります。児童が書きやすいようなら箇条書きでも構いません。自己の成長を振り返っていることを大切にしましょう。

4年生でがんばりたいこと

本シートの児童自身の振り返りも参考にさせながら、次年度の目指す姿をイメージさせましょう。「4年生の自分の姿を想像してみる」ということが大切です。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。

お家の人などからのメッセージ



小学校 4年 ()組 ()番 名前()

4年生でみにつけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、4年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。4年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時に

4年生が終わったときこんな自分になりたい！

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。

また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けをお願いします。



1学期

1学期が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。

1学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい」姿などを基に記入させます。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張り続けていることとして、肯定的に捉えることができるよう支援をしましょう。

(おうちや地いきで)

(学校行じ)

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対

2学期

2学期が終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張り続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

2学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

(生活：そうじの時間、かかり活どうなど)

(おうちや地いきで)

(学校行じ)

先生からのメッセージ

3学期

3学期が終わったときこんな自分になりたい

3学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

(生活：そうじの時間、かかり活どうなど)

(おうちや地いきで)

(学校行じ)

1年間をおえて、先生からのメッセージ

1年間をふり返って

この1年でせい長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長に気付かせてください。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

自分のよいところや、とく意なこと

友達同士で、お互いに頑張っていたところや良かったところを語り合う活動を取り入れることも考えられます。

こんな5年生、高学年になりたい

5年生で新たに始まることや、なりたい5年生像などについて、話し合うことなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。学級活動等で意見交流することも良いアイデアです。

お家の人などからのメッセージ



小学校 5年()組 ()番 名前()

5年生で身につけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、5年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。5年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

5年生が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。

また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けもお願いします。



1学期

1学期終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。

2学期

2学期終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張りを続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

3学期

3学期終わったときこんな自分になりたい

1年間をふり返って

高学年としてがんばったことやみんなのためにしたこと、成長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長を気付かせてください。学級活動等で、他者からの評価をもらうことも有効です。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

自分のよいところや、とく意なこと

友達同士で、お互いに頑張っていたところやよかったところを語り合う活動を取り入れることも考えられます。

こんな6年生になりたい

5年生での経験を踏まえ、これからの抱負を考えたり、6年生の学校生活や学校行事などをイメージさせ、希望をもたせるようにします。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

先生からのメッセージ

1年間を終えて、先生からのメッセージ

家の人などからのメッセージ



小学校 6年()組 ()番 名前()

6年生で身につけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、6年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。6年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

卒業するときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。

また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けをお願いします。



1学期

1学期が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。



なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい」姿などを基に記入させます。「なりたい自分にどれだけ近づけたか」という視点が難しい児童は、第4学年のシートと同様に、学期の振り返りを考えるように、と声掛けをしましょう。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張っていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

2学期

2学期が終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張っていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。



なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そうじの時間、係活動、クラブ活動、学校行事など)

(家庭や地いき)

()

先生からのメッセージ

3学期

3学期が終わったときこんな自分になりたい

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そうじの時間、係活動、クラブ活動、学校行事など)

(家庭や地いき)

()

中学校生活に向けて、先生からのメッセージ

1年間をふり返って、最高学年としてがんばったことやみんなのためにしたこと、成長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長を気付かせてください。学級活動等で、他者からの評価をもらうことも有効です。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

小学校生活をふり返って
(成長したと感じたことやそのきっかけ)

「キャリア・ログ」やその他の資料で振り返ることで、成長を実感させるようにします。

しょう来は、こんな大人になりたい

頑張ったことや自分のよいところを振り返った上で、将来なりたい自分について、じっくり考えさせることが大切です。
また、なりたい大人像や就きたい仕事を考え、それと日々の生活を結び付けることも重要です。
児童の記述が不十分と感じた場合、記述内容を認めた上で「そう思った理由やきっかけ」を考えさせ、記述させましょう。

家の人などからのメッセージ